

ひゃくじゅう

平成30年度イベント写真より



広報誌「ひゃくじゅ」の由来

「ご利用者・職員ともに幸せでありたい」という、大磯幸寿苑の願いが込められています。

～～～ 経営理念 ～～～

「高齢者はすべて我々社会の功労者であり人生の大先輩である」との理念に基づき、幸寿苑は設立されました。

加齢による心身の衰えは何人も避ける事のできないことであり、それ故に、一層の敬愛の情と細心の注意をもって高齢者に接しなければならないと、私どもは考えております。

施設をご利用いただく方々には少しでも内容豊かな生活をしていただき、一日でも早い在宅復帰・在宅支援が実現できるよう最善の努力をします。また、利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活がすぐせるようチームで支援します。

医療法人社団 幸 寿 会 介護老人保健施設 大 磯 幸 寿 苑

コンテンツ

☆表紙 ・ 広報誌「ひゃくじゅ」の由来

☆経営理念

☆老健マメ知識 No 8

・看護師長 藤吉 訓子

☆カイゴのお仕事カフェ@平塚

介護施設合同説明会出展

☆永年勤続表彰

15年勤続・10年勤続・金子施設長賞

☆職員紹介

・介護統括主任 深澤 勇二

・看護師 市澤 絢子

・リハビリテーション 神田 愛

☆ボランティアアフトレポ

☆フォトレポート



「看取り」

看護師長 藤吉訓子

人はいずれ死を迎えます。高齢化、少子化の時代国は急性期の病院から自宅、介護施設での看取り対応を、促進しています。

ひと昔前は病院で死んでいく人がほとんどでした。しかし今は色々な制度を利用しながら、自宅で死を迎えることも出来ます。ただ自宅での看取りはご家族の負担がかなり大きくなかなか出来ない現実もあります。

介護施設のご利用者様が増え施設での看取りを希望する方が増えています。元々特養での看取りはありますが、当苑のような施設では、看取りは行ってはいませんでした。しかし時代の流れか看取りを行う機会が多くなってきているのが実状です。

ただ看取りとは単に死にゆく場所を提供する事ではなく、その方の終末期をいかに素晴らしい時を過ごして頂けるかを考え、介護することが、看取りといえるのではないかと考えています。

ご家族と、職員が～死にゆく人が望むこと望んでいるだろう事～を考え、話し合い十分検討し実行することが看取りなのだと考えています。

ご家族の協力が必然です。今後ともよろしくお願いいたします。

介護施設合同説明会

カイゴのお仕事カフェ@平塚

平成31年2月14日ユメックス主催による、介護施設合同説明会に出展しました。当日はラスカ平塚6階ラスカホールで、介護業務未経験者へ通所・訪問・施設といったサービスの違いなどを動画で紹介するコーナーや、資格講座コーナーでは資格の種類や取得のために必要な期間や料金の案内。写真撮影コーナーではプロカメラマンによる証明写真を無料で撮影・現像。資料コーナーでは出展施設の施設概要や募集内容などの資料が置かれ、カフェコーナーではコーヒーやソフトドリンクを無料で提供。出展施設では各施設のスタッフから直接職場環境や仕事内容を確認でき、気に入った施設には後日施設見学の予約などもでき、就職希望者へのインフォメ

ーションに努めました。



永年勤続表彰

昨年12月に中止になった忘年会に代わり、2月1日午後7時より新年会が開催され、その中で永年勤続表彰があり、下記の方々が表彰されました。

○15年以上勤続

磯田有子（看護16）、高橋佐代子（看護16）、土井篤（リハ16）、深澤勇二（介護16）、外山智之（介護16）、大澤美香（介護16）、堀米葉子（栄養15）、大谷由季子（薬剤15）

○10年勤続

五十嵐みずき（介護10）、高田智子（デイ10）

○金子施設長賞5年以上勤続

橋本亜紀子（居宅9）、村岸はるみ（看護9）、佐藤智賀子（看護8）、簗島あゆ美（介護8）、高倉明香（総務8）、小松悦子（相談7）、鈴木直美（総務6）、西山和枝（デイ6）、足立直幸（営繕5）、杉崎和賀子（介護5）、杉本洋子（相談5）、山田佳代子（リハ5）。

以上（）内は現在の所属部署と数字は勤続年数
永年表彰者の皆様おめでとうございます。

職員紹介

介護統括主任 深澤 勇二

平成14年に専門学校から新卒で入社して、17年がたちました。現在、介護部統括主任をさせて頂いています、深澤勇二です。オープニングから大磯幸寿苑に携わり、色々な経験をさせて頂きました。大磯幸寿苑の特徴の一つに、夏の納涼祭があります。ご家族や



地域の方々に支えられて、毎年利用者様に喜んで頂ける様、何が出来るか考えていきたいです。自分が入社してから今まで変わらないスローガンがあります。丁寧・静か・クリーンです！これからも大磯幸寿苑をよろしくお願いいたします！

看護師 市澤 絢子

私は派遣看護師として当苑で働き始め、昨年9月からパートとして入職いたしました。それまでは、緩和ケアと回復期の病棟で働いてきました。



私が看護師として仕事をするにあたって決めている事は、患者様の『人生に関わらせて頂いている』という自覚を持つ事です。それは、終末期と回復期という正反対の環境から学びました。

患者様の希望や目標の為に看護師として、どれだけ関わり、努力できたかで、患者様の最後の時の過ごし方や、後遺症を持った状態での人生の再スタートの方法が変わってしまうという経験をしてきたからです。最後と再スタートという正反対な状況でも、一人一人の人生に関わらせて頂いているという事は共通しており、責任を持って関わらせて頂かなければいけないと思います。責任重大ですが、私はそこが看護師の魅力だと思います。

当苑でも、この信念を持ってご利用者様の為に働かせて頂きたいと思います。

リハビリテーション 神田 愛

1. 仕事の魅力とやりがい

リハビリの仕事はその人やその周りの人々がよりよく生活できるようにするものだと思います。



「自分で食べられるようになった。」「トイレに行けるようになった。」「安楽な姿勢で過ごせるようになった。」

等々・・・一緒にリハビリをしていく中で喜びを感じる事はたくさんあります。また「食事動作が自立する」という一つの目標に対して、上肢の筋力をつけようか、座っている姿勢を整えようか、自助具を試してみようか等、目標に対して評価をし、色々な方向からアプローチできることが仕事の魅力であると

思います。

2. 今まで特に印象に残っているエピソード

幸寿苑に入職する前は訪問リハビリをしていました。その時に訪問していた癌末期の方と、家族の誕生日が来るたびに一緒にケーキを買いに外出した事です。今までケーキを買ってくる人ではなかった様ですが、感謝の気持ちを家族に伝えたいと、体調が優れなくてもケーキを買いに行きました。病状が決して良くなる人ではありませんでしたが、QOLの（Quality of Life「生活の質」の略）部分で関わった事はとても良かったと思います。

3. 職場の雰囲気

職場の雰囲気は明るく、入所者様への思いやりに溢れている場所だと思います。主体は常に入所者様であるということを忘れず、日々勉強していきたいと思います。

ボランティア

平成30年12月2日 カラオケ



12月6日 華道



12月8日 ピアノコンサート





フォトレポート

平成 30 年 12 月 22 日

クリスマスコンサート 大磯小学校吹奏楽部



-12月11日 フラワーアレンジメント



平成 31 年 1 月 16 日 コーヒー喫茶



平成 31 年 日の出 (1 月 2 日撮影)



※元旦の初日の出は曇り空で撮影できませんでした。

2 月 14 日 行事食 海鮮丼

